

平成27年8月 No.133

くんねっぶ 社協だより

〔発行〕 社会福祉法人 訓子府町社会福祉協議会
〔住所〕 訓子府町東町398番地
訓子府町総合福祉センター「うらら」内
TEL 47-3536 / FAX 47-5556



第65回 社会を明るくする運動

～ふるさとまつり会場でPR～

広く町民の皆さんに『社会を明るくする運動』の趣旨を理解していただくため、7月12日に開催された「くんねっぶ ふるさとまつり」の会場で、啓発資材を配布し、来場者へ「社明運動」への協力と理解を呼びかけました。

※この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を活用し発行しています。

平成26年度 訓子府町社会福祉協議会 事業報告

★平成26年度に社会福祉協議会では、このような事業を実施いたしました。

事業名		内 容
社会福祉事業 一般社会事業 計画事業	①広報事業	◆「社協だより」の発行 ・年4回 ◆「ボランティアセンター」推進事業チラシ配付・社協だより掲載 ・年5回
	②生きがい対策事業	◆「ふれあい昼食会」の実施 毎月1回、70歳以上の単身者を招待し、昼食会を実施 ・年間12回、延参加者数515名 ◆「まごころ弁当」配付事業 ・年間12回、延配付人数152名
	③地域福祉事業	◆小地域ネットワーク活動の推進 交流会等の社会参加促進事業や、安否確認等の見守り、訪問活動の促進 民児協「ふれあいチーム推進事業」への支援
	④子育て福祉事業	◆新生児の健やかな成長を願い、誕生証書を贈呈 ・配付人数27名
	⑤青少年福祉事業	◆子ども会育成連絡協議会への活動費助成
	⑥身体障がい者福祉事業への支援	◆身体障害者外出支援サービス事業の実施(町委託事業) ・延利用人数151名 ◆身体障害者福祉協会訓子府分会の事業活動の推進及び活動費助成
	⑦老人福祉事業の推進	◆夜光反射材付きの黄色い杖を希望者へ無償配付 ・配付人数20名〔配付本数21本〕 ◆70歳以上の単身者へ、各学校の児童生徒やボランティアの協力を得て、郵便による声掛けを実施 ・延人数1,163名 ◆訓子府町老人クラブ連合会の事業活動の推進及び活動費助成
	⑧戦没者遺族援護事業	◆訓子府町遺族会への活動費助成
	⑨生活支援事業	◆葬儀用供花ポスターの作成・頒付 ・利用枚数400枚 ◆歩行困難な方への外出、小旅行や短期間の家庭介護、入院等に際し車イスを無償貸出・利用数20件〔延貸出数22台〕
	⑩社会を明るくする運動事業への支援	◆～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～として活動を推進する「社会を明るくする運動」への支援及び、事務局を担当 ・強化月間：7月1日～31日
	⑪援助活動の推進	◆道社協生活福祉資金貸付事業 他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、福祉資金、教育支援資金の貸付のために必要な相談・支援を行う ◆災害被災者への見舞金贈呈 災害見舞慶弔規程に基づき見舞金を交付 ◆赤い羽根共同募金活動への支援と事務局担当 ・平成26年度募金実績額 1,166,347円 ◆歳末たすけあい運動事業への支援と事務局担当 ・平成26年度募金実績額 597,984円 ◆歳末まごころプレゼント事業 歳末たすけあい運動を実施し、町民の皆さんから寄せられた募金を“ひとり親世帯”や“75歳以上の単身世帯”等へ「まごころプレゼント」として、見舞金を贈呈 ・贈呈件数 143件 ・贈呈金額 612,500円
	⑫心配ごと相談事業	◆町民の心配ごとや悩みごとに対して相談窓口を開設
	⑬高齢者単身世帯緊急連絡先情報の更新整備	◆民生委員児童委員協議会を通じ、高齢者単身世帯の緊急連絡先等情報を把握
	⑭ボランティア推進事業	◆ボランティアセンター活動の推進 ・利用申請件数14件 ◆ボランティア実践者と利用者の募集 ◆ボランティア育成のため講習会、講座を開催 ◆ボランティア活動の普及、団体等への支援及び活動費の助成 ・町内各学校4校
	⑮その他各種福祉関係団体との連携	◆訓子府町民生委員児童委員協議会との連携及び活動費助成 ◆北見地区保護司会訓子府町分区との連携及び活動費助成、事務局担当 ◆釧路更生保護協会訓子府分会との連携
	⑯福祉資金貸付事業	◆低所得世帯や生活困窮世帯、身体障がい者世帯等の自立更生を援助するため、社協の福祉資金の貸付けを実施〔限度額：原則50,000円〕 ◆負傷又は疾病の治療に必要な経費、及びその療養期間中に生計を維持するための医療資金の貸付けを実施〔限度額：原則50,000円〕
	⑰その他の事業	◆居武士小学校、訓子府中学校の福祉の学習に協力 ◆声かけ訪問 社協のホームヘルパーが安否確認及び福祉ニーズ把握のため、70歳以上の単身者宅へ訪問
	⑱福祉バンク事業	◆各ボランティア活動の実施 ・協力員延出役人数87名

[3] くんねっぷ社協だより

平成26年度 一般会計決算書

【収入の部】 (単位:円)

科 目	決算額	説 明
会費収入	1,196,000	個人・法人による会費収入
寄付金収入	1,066,782	一般・指定寄付
介護保険収入	7,706,628	訪問介護事業による介護給付費収入
障がい者福祉サービス収入	1,822,080	障がい者総合支援法に基づく介護給付費収入
訪問介護サービス収入	313,000	訪問介護私的契約利用料
経常経費補助金収入	21,572,457	町からの補助金
受託事業収入	239,480	町及び道社協からの受託金収入
共同募金収入	1,527,629	赤い羽根共同募金等の助成金
雑収入	102,262	
受取利息配当金収入	5,917	
合 計	35,552,235	

【支出の部】

科 目	決算額	説 明
人件費支出	29,793,067	職員給与等
事務費支出	2,807,332	事務費等諸経費にかかる支出
事業費支出	1,544,572	各種事業にかかる支出
共同募金配分事業費	1,157,228	赤い羽根共同募金等の助成金で行う事業への支出
基金積立金支出	250,036	まごころ基金積立
合 計	35,552,235	

貸 借 対 照 表 (単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘 定 科 目	当 年 度 末	勘 定 科 目	当 年 度 末
【流動資産】	2,941,562	【流動負債】	2,441,562
【固定資産】	21,533,486	【固定負債】	4,444,690
基本財産	1,000,000	負債の部合計	6,886,252
その他の固定資産	20,533,486	純 資 産 の 部	
		【基 本 金】	1,000,000
		【その他の積立金】	16,088,793
		【次期繰越活動収支差額】	500,003
		純資産の部合計	17,588,796
資産の部合計	24,475,048	負債及び純資産の部合計	24,475,048

平成26年度 居宅介護支援事業特別会計決算書

【収入の部】 (単位:円)

科 目	決算額	説 明
介護保険収入	7,106,870	居宅介護事業による介護給付費収入
受託事業収入	1,838,990	町からの受託金収入
経常経費補助金収入	6,825,615	町からの補助金
受取利息配当金収入	239	
合 計	15,771,714	

【支出の部】

科 目	決算額	説 明
人件費支出	14,615,950	職員給与等
事務費支出	1,155,764	事務費等諸経費にかかる支出
合 計	15,771,714	

貸 借 対 照 表 (単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘 定 科 目	当 年 度 末	勘 定 科 目	当 年 度 末
【流動資産】	1,710,130	【流動負債】	1,710,130
【固定資産】	6,840,681	【固定負債】	4,238,700
その他の固定資産	6,840,681	負債の部合計	5,948,830
		純 資 産 の 部	
		【次期繰越活動収支差額】	2,601,981
		純資産の部合計	2,601,981
資産の部合計	8,550,811	負債及び純資産の部合計	8,550,811

福祉のひろば

レクリエーション公園で ふれあい昼食会開催!

町内の一人暮らしの高齢者を対象にしたふれあい昼食会が6月1日、町レクリエーション公園で行われました。

高齢者の交流を目的に毎月行われているふれあい昼食会ですが、年に一度花見をかねて野外で焼肉を楽しんでいます。この日は、風もなく穏やかな天気にも恵まれ、来賓の佐藤副町長を含め34名の方が参加されました。当日は焼肉だけでなく、輪投げやスロットボールなどのゲームも行われ、参加者の皆さんの笑顔もたくさん見られました。



～身障福祉協会訓子府分会～ 焼き肉で「親睦のつどい」

6月11日、町レクリエーション公園において、身体障がい者福祉協会訓子府分会の会員同士の交流を深めることを目的に、「親睦のつどい」が開催され、17名の方が参加されました。

会員たちはおいしい焼き肉に舌鼓をうち、楽しく和やかなひと時を過ごしました。



第11回 網走地区 身体障がい者PG大会

6月21日、第11回網走地区身体障がい者パークゴルフ大会が、佐呂間町「100年記念広場パークゴルフ場」を会場に開催されました。

管内8市町より54名の選手が参加され、本町からも5名の選手が出場し、ナイスショットを連発していました。



福祉のひろば

第31回 老連ゲートボール大会開催

6月18日、「第31回老連ゲートボール大会」が屋内ゲートボール場で開催され、11チーム75名の方が熱戦を繰り広げました。

優勝は実郷寿会チーム、準優勝は中央長寿会チーム、おめでとうございます。



北海道共同募金助成事業により 新車両を導入しました

この度、北海道共同募金会の車両整備事業助成を受け、NPO法人きらきら本舗と本会において新車両を導入しました。

北海道共同募金会では、全道各地の市町村で集められた募金の約2割を、全道広域への助成金として、残りの約8割を集められた市町村で行われる、各福祉事業に助成しています。今回の車両整備事業は、全道広域での助成対象として決定されました。

きらきら本舗では、利用者の送迎や配食サービス等に、本会では社協の各事業へ大切に活用させていただきます。



左：社会福祉協議会 右：きらきら本舗

第60回 オホーツク管内社会福祉大会

7月2日、各市町村における地域福祉の推進を図ることを目的に第60回オホーツク管内社会福祉大会が大空町で開催され、オホーツク管内の福祉関係者357名が一堂に会し、本町からは13名が出席しました。本大会中では『オホーツク総合振興局長表彰』、『オホーツク管内市町村社会福祉協議会連絡協議会会長表彰』の授与が行われ、管内福祉関係者129名が表彰されました。

また、講談師 神田山陽氏を講師に迎え、『講談という仕事から見た世間』～ここ数年仕事を通じて肌身に感じてきたこと雑感を申し上げます～と題し、講演をいただきました。

なお、オホーツク管内社会福祉大会は、今大会の第60回をもって終了となることが決定されており、長きに亘る歴史深い、オホーツク管内社会福祉大会に幕がおろされました。

第60回 オホーツク管内社会福祉大会



講談師 神田山陽氏

第三者委員の選任について

社会福祉法第82条の規定により、訓子府町社会福祉協議会が提供する福祉サービスを利用される皆様からのご相談や苦情を受け付けます。

第三者委員は苦情申出人と苦情解決責任者（事務局長）との話し合いの助言・立会などを行います。

第三者委員

行政書士 岩 城 道 尚 氏（旭 町）

民生委員 佐 藤 直 子 氏（東幸町）

受賞おめでとうございます

オホーツク総合振興局長表彰

◆大正寺 恵 子 さん（緑 丘）

オホーツク管内市町村社会福祉協議会
連絡協議会会長表彰

◆平 林 規 子 さん（若葉町）

7月2日に大空町で開催されました、「第60回オホーツク管内社会福祉大会」の席上において、民生委員として町内の地域福祉の向上に尽力され、会の発展と運営に多大な貢献をされている功績が認められ受賞いたしました。

○交通安全杖を無料で差し上げます

社協では、夜光反射材付きの『黄色い杖』を無償で差し上げています。

○車イスをお貸しいたします

体が不自由な方や、一時的な入院、外出の際の手助けになればと無料で車イスを貸し出しています。

ご希望の方はいずれも社会福祉協議会までお申し出ください。

訓子府町福祉友の会より寄付

訓子府町福祉友の会は、平成9年の発足以来、障がい者の授産施設の必要性を訴えながら、足かけ19年間様々な活動を行ってきましたが、会員の高齢化等により解散する運びとなり、会員の積立金を福祉のためにと本会の他、町内各施設等に寄付として贈呈されています。

本会への寄付に際し、訓子府町福祉友の会の皆様のご厚志に厚くお礼申し上げます。



◎各種お問い合わせ先◎

訓子府町社会福祉協議会

〔住所〕 訓子府町東町398番地

〔電話〕 47-3536

あたたかいご寄付をありがとうございます

あたたかいご寄付をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。
皆様のご厚意に感謝し、地域の福祉活動に活用させていただきます。
（平成27年4月11日～平成27年7月10日）

▽香典返しにかえて

北 崎 裕 敬 様（旭 町）
伊 藤 幸 司 様（弥 生）
伊 藤 和 浩 様（若富町）
河 野 正 二 様（穂 波）
渡 邊 佑 子 様（西 富）
米 木 武 司 様（末広町）
福 田 節 幸 様（清 住）
日下部 睦 子 様（若富町）
太 田 富美子 様（清 住）

菅 野 好 紀 様（福 野）
椿 勝 美 様（日 出）
北 山 奈緒美 様（若富町）
竹 口 政 好 様（末広町）

▽福祉のために

くんねっぶカラオケ親睦会 様

▽福祉用具等購入のために

訓子府町福祉友の会 様